

## 第2回 石川県成長戦略「ミライカイギ」 次第

令和6年10月8日（火） 16:00～17:30  
ANAクラウンプラザホテル金沢 3階「瑞雲」

### 1 開会挨拶

### 2 議 事

- (1) 令和5年度の実施状況報告について
- (2) 石川県創造的復興プランについて

### 3 意見交換

### 4 閉 会

- 資料1 令和5年度石川県成長戦略実施状況報告
- 資料2 石川県創造的復興プランについて
- 参考資料1 令和5年度石川県成長戦略実施状況報告書
- 参考資料2 令和5年度地方創生推進交付金・拠点整備交付金及び  
地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）事業の実施状況

第2回石川県成長戦略「ミライカイギ」 出席者名簿

(敬称略、50音順)

氏名	役職名	備考
青木 恵	株式会社北國新聞社取締役経営企画室長	
大月 真由美	特定非営利活動法人石川県防災士会副理事長	欠席
數馬 嘉一郎	数馬酒造株式会社代表取締役	Web出席
加納 慎也	小松ウオール工業株式会社代表取締役社長	
小杉 佳世子	西日本電信電話株式会社北陸支店長	
佐田 啓子	株式会社まつや代表取締役社	
新滝 祥子	株式会社ゆのくにの森取締役社長室長	
新保 雄希	幼保連携型認定こども園泉の台幼稚舎園長	Web出席
高田 恒平	株式会社金沢彩の庭ホテル代表 株式会社金沢アドベンチャーズ代表	
多田 真由美	一般社団法人春蘭の里代表理事	
出島 彰宏	珠洲市総合病院内科医長兼地域医療連携室長	Web出席
任田 和真	いしかわ地域おこし協力隊ネットワーク共同代表	
中惣 恭子	一般財団法人小原流南加賀支部長	
奈良 宗久	茶道裏千家今日庵業躰	欠席
橋本 陽子	北陸電力株式会社石川支店営業部営業担当主査プランナー	
森高 靖子	加賀建設株式会社土木部課長	
安井 善成	有限会社安井ファーム代表取締役	欠席
山口 宗大	株式会社どんたく代表取締役社長	

計 18名  
出席 15名  
欠席 3名





令和5年度

# 石川県成長戦略 実施状況報告

令和6年10月8日



# 石川県成長戦略の体系

## 基本目標

## 幸福度日本一に向けた石川の未来の創造

～住みやすく、働きやすい、活力あふれる石川県の実現～

<目指す姿> <視点> <6つの戦略>

住みやすい  
石川県

働きやすい  
石川県

活力あふれる  
石川県

### 視点1

石川の新たな価値の創造

1 新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり

2 収益力の高い農林水産業と次世代につなぐ農山漁村づくり

3 個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり

4 石川の未来を切り拓く人づくり

5 温もりのある社会づくり

6 安全・安心かつ持続可能な地域づくり

### 視点2

県民が健やかに安心して暮らせる社会の構築

<2つの横断的戦略>

1 デジタル活用の推進

2 カーボンニュートラルの推進

<38の施策>

- |                  |                        |
|------------------|------------------------|
| 1 産業のDX推進        | 5 国内外への販路拡大・魅力発信       |
| 2 産業のGX推進        | 6 中小企業・小規模事業者等の事業基盤の強化 |
| 3 産業を支える人材の確保・育成 | 7 企業等の戦略的誘致            |
| 4 新事業・新産業の創出     |                        |

- 1 農業生産構造の強化
- 2 持続可能な農業・畜産の体制づくり
- 3 農林水産物のブランド化の推進や里山里海地域の振興
- 4 県産材の生産・利用拡大による林業の発展と木材産業の体制強化
- 5 持続性のある水産業の実現

- |                                |                       |
|--------------------------------|-----------------------|
| 1 個性と厚みのある文化の創造と発展             | 5 地域活力の向上に向けた移住・定住の促進 |
| 2 スポーツを通じた活力の創造                | 6 個性豊かな地域づくり          |
| 3 選ばれ続ける観光地としてのブランド力の強化        | 7 世界に開かれた国際交流の推進      |
| 4 交流人口の拡大に資する陸・海・空の交流基盤のさらなる充実 |                       |

- 1 次世代を担う人材の育成
- 2 地域の知の拠点たる高等教育機関と連携した「学都石川」の発展
- 3 人生100年時代を見据えた、生涯にわたり学び活躍できる環境の整備

- 1 安心して子どもを生き育てることができる環境の充実
- 2 生涯健康で安心して暮らせる社会づくり
- 3 全ての県民への必要な医療の提供
- 4 誰もが心豊かに安心して暮らせる多様性を認め合う社会づくり
- 5 男女が共に活躍できる社会の実現

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1 災害に負けない強靱な県土づくり  | 3 持続可能な循環型社会づくり    |
| 2 安心して快適に暮らせる地域づくり | 4 自然と人とが共生できる社会づくり |

- 1 デジタル活用の基盤整備
- 2 社会全体のDX推進

- |                         |                            |
|-------------------------|----------------------------|
| 1 幅広い産業分野におけるGX推進       | 4 環境配慮型自動車の普及やモーダルシフトの促進   |
| 2 エネルギー構造の転換への対応        | 5 カーボンニュートラルの実現に向けた県民意識の醸成 |
| 3 住宅や民間施設などのゼロエネルギー化の促進 |                            |

# 戦略の実施状況

## 戦略1 新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり

- スマートエスイー I O T / A I 石川スクールの開催や、D X 設備・システムの導入支援等により、デジタル人材育成や先進技術の普及を促進
- 産学官連携による炭素繊維と天然繊維を用いた環境適合型複合材料の研究開発等の推進や、春蘭の里における「ゼロカーボンビレッジ」の普及啓発等を通じ、グリーン分野への参入や、カーボンニュートラル対応と競争力強化の両立を促進



スマートエスイー I o T / A I 石川スクール

## 戦略2 収益力の高い農林水産業と次世代につなぐ農山漁村づくり

- 水稲から収益力の高い園芸作物への作付転換や、スマート農業技術の導入・定着支援等による生産性向上
- 「百万石の極み」を中心とした県産食材の生産振興や販路拡大、県産米の消費拡大を促進
- いしかわ耕稼塾、あすなる塾、わかしお塾等を通じた新規就業者の確保・育成・定着



たまねぎへの作付転換

# 戦略の実施状況

## 戦略 3 個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり

- 「いしかわ百万石文化祭2023」において、石川ならではの文化資源を活用した151の事業を展開し、石川の文化・芸術の力を発信
- 県立美術館と国立工芸館の共同による「皇居三の丸尚蔵館収蔵品展」の開催など、兼六園周辺文化の森における連携強化と魅力向上
- いしかわスポーツ医科学情報センターの設置や県内トップスポーツチームとの連携等による、スポーツを通じた活力の創造
- いしかわ文化振興条例への「文化観光の推進」の位置付けと、石川県文化観光推進本部の設置等により、文化観光を推進
- I R いしかわ鉄道の運行本数の増加等による地域公共交通の維持・確保・充実
- 石川県での暮らしの魅力等の情報発信強化や移住体験機会の提供等により、移住・定住を促進
- 地域おこし協力隊との協働による個性豊かな地域づくりの推進
- 石川ジャパニーズ・スタディーズ・プログラムの実施や、友好交流地域との青少年相互派遣等により、国際交流を拡大



チームラボ金沢城光の祭



皇居三の丸尚蔵館収蔵品展



移住体験の様子

# 戦略の実施状況

## 戦略 4

### 石川の未来を切り拓く人づくり

- 金沢大学と連携した学力調査分析等による小中学校の授業改善や1人1台端末などICTの活用等により、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を推進
- 高等学校での地域課題の解決に向けた探求的学習等による「ふるさと教育」の推進や、地元産業界等との連携による職業教育の充実
- 全国の高校教員に石川県の充実した学びの環境を紹介するキャンパスツアーの実施等を通じ、県内高等教育機関の魅力を発信



キャンパスツアーの様子

## 戦略 5

### 温もりのある社会づくり

- いしかわ健康経営宣言企業の認定による「健康経営」の普及や、市町における地域包括ケア推進に向けた支援等により、県民の健康を支える環境づくりを推進
- 修学資金の貸与等による医師・看護師の確保・育成や、産科医不足地域での「遠隔分娩監視システム」の導入支援等を通じた地域医療の確保
- 男女が共に活躍できる社会の実現に向けた、企業における職場環境づくりや男性の家事・育児等への参画促進、女性等に対する暴力根絶に向けた意識啓発等の実施



あいきゅんロゴマーク

# 戦略の実施状況

## 戦略 6

### 安全・安心かつ持続可能な地域づくり

- 市町と連携した防災士の育成による地域防災力の向上や、防災DXの推進等を通じた災害対応力の基盤強化
- 流域治水の取組等を通じた防災・減災対策の充実強化
- 参加・体験・実践型の交通安全教育の推進や、自転車ヘルメット着用を呼び掛ける街頭キャンペーン等を通じた交通事故の防止
- 省エネ・創エネ住宅の新築や電気自動車等の購入支援、いしかわエコハウスのリニューアル等を通じ、省エネ・創エネに対する県民の理解を促進
- 早ければ令和8年度となる能登でのトキ放鳥に向けた、放鳥推進モデル地区への支援や、「いしかわトキの日」記念キックオフイベントの開催等による生息・社会環境の整備促進
- クマ出没マップの作成や市街地出没訓練等を通じたツキノワグマによる人身被害防止

## 横断 戦略 1

### デジタル活用の推進

- 電子申請システム等を利用したオンライン行政手続の運用拡大により、県民の利便性を向上
- スマートエスイーIoT/AI石川スクールの開催や、DX設備・システムの導入支援等により、デジタル人材育成や先進技術の普及を促進【再掲】

## 横断 戦略 2

### カーボンニュートラルの推進

- 省エネ家電を購入した県民へのキャッシュレスポイント付与等により、家庭における省エネを推進
- 2050年カーボンニュートラルの実現に向けた、「いしかわゼロカーボンの日（10月10日）」イベントの開催等による県民の気運醸成

# 主要目標の状況

戦略	指標名	目標値 (R14年度)	実績値 (R4年度)	実績値 (R5年度)	達成 状況
1	・県民1人当たりの県内総生産(実質)	年平均2.2%成長 (R4～R14年の平均)	年平均0.9%成長 (H24～R4年(推計)の平均)	年平均1.1%成長 (H25～R5年(推計)の平均)	B
2	・農業産出額	600億円	480億円 (R3年)	484億円 (R4年)	C
	・食料自給率(県内)(生産額ベース)	55%	43% (R3年度)	41% (R4年度)	D
3	・兼六園周辺文化の森文化施設来館者数	354万人	234万人	276万人	B
	・観光消費額	4,000億円	2,187億円 (R4年)	3,107億円 (R5年)	B
	・人口の転入出数	社会減解消 (R9年)	▲2,163人 (R4年)	▲2,241人 (R5年)	C
4	・全国学力調査の平均正答率	小6：70%以上 中3：70%以上	小6：69.7% 中3：62.0%	小6：69.5% 中3：59.3%	D D
	・県内大学・短期大学の志願者数	34,000人	32,609人	28,717人	D
5	・合計特殊出生率	1.8	1.38 (R4年)	1.34 (R5年)	D
	・健康寿命	平均寿命の増加を上 回る健康寿命の増加	健康寿命 男性：73.08 女性：75.90 平均寿命 男性：81.79 女性：87.79 (R1年)	—	—
6	・防災士数	12,000人以上	9,125人	9,929人	B
	・交通事故年間死者数	減少	22人 (R4年)	28人 (R5年)	D
横断 2	・温室効果ガス排出量の削減率	▲50% (R12、2030年度) 排出量実質ゼロ (2050年)	▲23.1% (R2年度)	▲20.0% (R3年度)	D
横断 1	・オンライン化された県条例等を根拠とする 手続の利用率	90%	15.8%	46.5%	B
	・県内産業の付加価値率	22.3%	21.6% (R2年度)	—	—

## ＜達成状況＞

A:達成 実績値(R5年度)が目標値を上回り、目標を達成した状態

B:前進 実績値(R5年度)が実績値(R4年度)より上回っており、目標に向かって前進している状態

C:横ばい 実績値(R5年度)が実績値(R4年度)とほぼ変わらず、横ばいの状態

D:後退 実績値(R5年度)が実績値(R4年度)より下回っており、後退している状態

※「—」は、数年に一度の調査で実績値が出されるため、R5年度の実績値がないもの

# 石川県創造的復興プランについて

能登が示す、ふるさとの未来  
Noto, the future of country

令和6年6月  
石川県

# 石川県創造的復興プラン 概要

## <プランの構成>

- 序 章 . . . . 「能登らしさ」
- 第1章 . . . . 「被災状況」  
地震の概要、県内における被害の状況
- 第2章 . . . . 「創造的復興に向けて」  
創造的復興の必要性、スローガン、創造的復興に向けた基本姿勢
- 第3章 . . . . 「プランの位置づけ、計画期間、対象地域」  
プランの位置づけ、期間、対象地域、創造的復興に向けたさまざまな声
- 第4章 . . . . 「創造的復興に向けた取り組み」  
施策体系、創造的復興リーディングプロジェクト、具体的取組（別冊）
- 第5章 . . . . 「推進体制と進捗管理」  
多様な主体との連携・協力、復興財源の確保、進捗管理、検証と後世への伝承
- 別 冊 . . . . 「施策編」  
具体的取組、タイムライン

# 石川県創造的復興プラン 概要

## <プランの位置づけ>

### 「創造的復興の実現に向けた羅針盤」

県成長戦略に基づく施策の推進を県政運営の基本としつつ、地震からの復興に関する事項は、本プランに基づき推進。

## <計画期間>

県成長戦略の目標年次である令和14年度末までの9年間

「短期」(2年後の令和7年度末)

「中期」(5年後の令和10年度末)

「長期」(9年後の令和14年度末)

## <創造的復興に向けて>

- ・「地域が考える地域の未来を尊重する」
- ・「あらゆる主体が連携して復興に取り組む」
- ・「若者や現役世代の声を十分に反映する」

など12の基本姿勢に基づき、創造的復興リーディングプロジェクトをはじめとする取り組みを通じて、創造的復興を成し遂げる。

# 創造的復興のスローガン

## 創造的復興のスローガン

### 能登が示す、ふるさとの未来 Noto, the future of country

能登は、人々にとっての特別な地です。私たちが当たり前のものと思ってきた能登の美しい自然、そして歴史が培った文化は、世界にも誇れる未来に継承すべき唯一無二の財産です。また能登は、多くの課題を抱える日本にとっての様々な課題の先進地でもあります。

そんな能登に、年の始まるその日に発生した大震災。この痛みと悲しみを乗り越え、これを未来へと続く新たな始まりとしたい。能登が創造的復興を成し遂げ、自然と文化が真に共生する持続的な地域の姿を示すことは、大切な能登を未来に紡ぐだけでなく、日本、そして世界中のあらゆるふるさとの希望の光となります。

能登が持つ自然や文化の普遍的な価値に新たな価値を融合し、全国そして世界から再び注目を集め、理想とされる能登の未来を創り上げることを目指す、という決意を表しています。

# 施策の4つの柱

## 施策の4つの柱

### 1 教訓を踏まえた災害に強い地域づくり

インフラや施設の早期復旧と強靱化、災害廃棄物の処理促進、復旧事業者や支援者への支援、復旧・復興を通じた関係人口の拡大 など

### 2 能登の特色ある生業（なりわい）の再建

被災した事業者の早期再建に向けた支援、農林水産業の再建、伝統工芸産業や商店街の再建、観光産業の再建、新たなビジネスの創出 など

### 3 暮らしとコミュニティの再建

暮らしと住まいの再建、祭りや文化財の再建、文化・スポーツの力の活用、地域公共交通の再建、デジタル活用などスマートな生活の実現 など

### 4 誰もが安全・安心に暮らし、学ぶことができる環境・地域づくり

医療・福祉・子育て支援体制の充実強化、学びの環境の再建、豊かな自然環境を活かした能登の魅力の向上、被災者・被災地支援の充実、危機管理対応の充実と震災の検証 など

このうち、創造的復興の象徴的プロジェクトを「[創造的復興リーディングプロジェクト](#)」と位置づけ

# 創造的復興リーディングプロジェクト

## (取組 1) 復興プロセスを活かした関係人口の拡大

今回の震災により人口減少のさらなる加速が懸念される能登において、震災を乗り越え、さらに地域の活力を維持向上させていくため、関係人口の拡大に向けて必要な施策を検討します。

<内容>

- 能登地域の特性に対応した「二地域居住モデル」の検討
- 官民連携の「連携復興センター」の設置
- 能登農林水産業ボランティアの実施
- 能登への移動時間の短縮 など



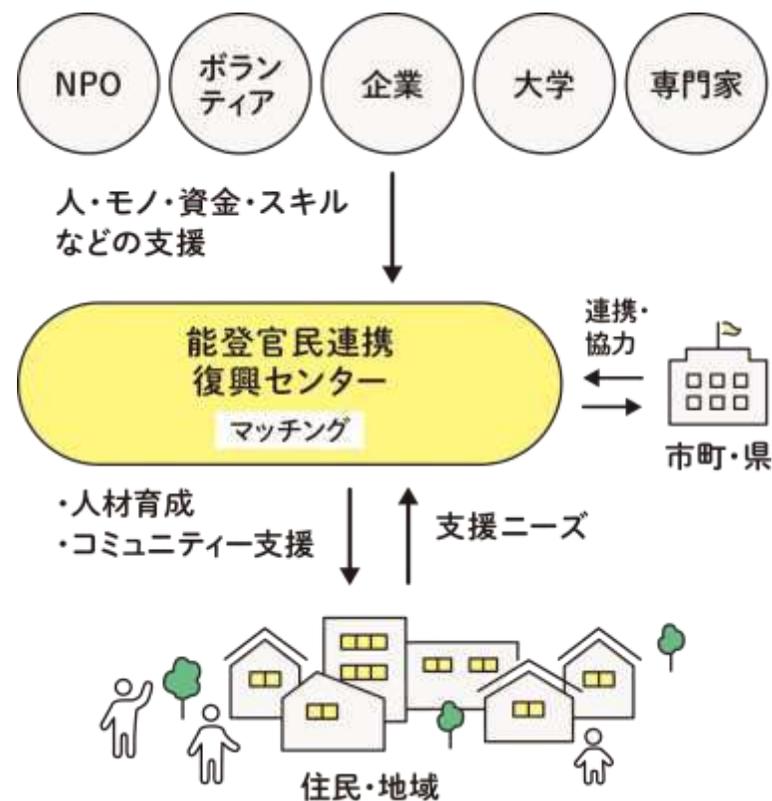
-週末は地方部でゆっくり過ごす  
-定期的に能登復興の活動を行う



平日は都市部で  
仕事をする



(写真) 石川県観光連盟



# 創造的復興リーディングプロジェクト

## (取組2) 能登サテライトキャンパス構想の推進

今回の地震により、今後、能登が防災や復興などの教育・研究フィールドとして活用されることが見込まれるため、交流人口や関係人口の増加につながるよう取り組みます。

<内容>

- 復興に関わる県内外の大学生等の受入促進
- 金沢大学「能登里山里海未来創造センター」など高等教育機関との連携
- 学生の祭りへの参加促進による伝統文化に触れる学びの場の創出 など



金沢大学能登里山里海SDGsマイスタープログラム

## (取組3) 能登に誇りと愛着が持てるような「学び」の場づくり

誰一人取り残さない学びの場を提供するとともに、震災の教訓を生かした創造的復興教育や、ICTの活用、能登地域の各高校の連携・交流などによる質の高い学びを実現します。

また、能登のこどもたちがさまざまな活動に参加でき、能登に住む若い世代が家庭や子育てに夢を持ち喜びが感じられるよう、健やかな子育てや学びを享受できる環境整備を進めます。

<内容>

- ICTを活用した遠隔授業など学習環境整備
- 能登の各高校間の連携・交流による魅力ある学校づくり
- ふるさとの価値を実感し、国内外の生徒との交流や課題解決型学習を進める創造的復興教育の推進
- 能登で子育てがしたいと感じることができる環境整備 など



高校生の地域留学推進のための  
高校魅力化支援事業 (内閣府)



(写真) 能登高校提供

# 創造的復興リーディングプロジェクト

## (取組4) 新たな視点に立ったインフラの強靱化

今回の地震では、道路、電気、上下水道、通信などが壊滅的な被害に見舞われましたが、壊れたインフラの原形復旧に捉われることなく、強くしなやかで使いやすく、サステナブルで新たな価値を創造するインフラの実現を目指し、復旧・復興に取り組みます。

<内容>

- 道路強靱化と里山里海との調和を図り、能登半島沿岸部の回遊性を高める「能登半島絶景海道」の整備 など



(堂ヶ崎 (珠洲市))

## (取組5) 自立・分散型エネルギーの活用などグリーンイノベーションの推進

従前の「線でつながるインフラ」に加え、自立・分散型の「点でまかなうインフラ」も選択肢の一つとするなど、能登におけるグリーンイノベーションに向けた先進的な取り組みを進めます。

<内容>

- 自立分散型のオフグリッド集落の整備
- 住宅や事業所におけるグリーンイノベーション (太陽光発電や蓄電池等の普及)
- 環境負荷の小さい電気自動車によるグリーンドライブの推進 など



# 創造的復興リーディングプロジェクト

## (取組 6) のと里山空港の拠点機能の強化

奥能登の中央部に位置し、能登の各地域ともつながる交通の要衝であるのと里山空港を人・物・資金が行き交う様々な社会機能の中核となる拠点として更なる機能強化を図ります。

<内容>

- 定期便に加え、プライベートジェットの誘致などによる航空交流拠点の機能強化
- 災害時における防災拠点としての機能強化 など



(空港上空からの眺望)



(着陸した自衛隊機)

## (取組 7) 利用者目線に立った持続可能な地域公共交通

地域住民の生活の足として、さらに能登の交通結節点であるのと里山空港・のと鉄道からの二次交通としても重要な地域公共交通のあり方について、市町や交通事業者などと連携し、利用者のニーズを丁寧に汲み取りながら、将来の能登の姿を見据えた、地域公共交通のリ・デザイン（再構築）に向けた協議を行っていきます。

<内容>

- 自家用有償旅客運送やAIオンデマンド型交通、自動運転などの導入 など



(写真) 小松市提供

(小松市で運行されている自動運転バス)

# 創造的復興リーディングプロジェクト

## (取組 8) 奥能登版デジタルライフラインの構築

今回の震災では、デジタル技術が物資の支援や被災者・避難所等の状況把握などで活用されました。こうした経験を踏まえ、国や市町とも連携し、平時から災害時までフェーズフリーで、状況に関わらず活用が可能な「奥能登版デジタルライフライン」の構築を目指します。

<内容>

- 公民館等を活用したモビリティ・ハブの検討
- ドローンを活用した物流配送の確立
- マイナンバーカードの普及促進と公共施設等での新たな利用の検討 など



(ドローンによる支援物資輸送)

## (取組 9) 能登の「祭り」の再興

能登の各地域に存在する数多くの祭りは、地域の魅力を高めるとともに、地域への誇りや愛着を育み、能登の絆をつなぐ大きな役割を果たしています。こうした祭りを絶やすことなく未来に継承していくことで、震災を乗り越え、地域コミュニティの再建につながるよう取り組みます。

(写真) 石川県観光連盟

<内容>

- 祭り用具の補修や新たな調達等に対する支援 など



(あばれ祭り (能登町))



(青柏祭 (七尾市))

# 創造的復興リーディングプロジェクト

## (取組10) 震災遺構の地域資源化に向けた取り組み

地震による被害や教訓など後世に伝えるべき歴史的・文化的価値を持つ遺構について、国等による学術的な調査を進めるとともに、地元の意向も踏まえながら、震災遺構の地域資源化に向けて保護・活用方策を検討します。

<内容>

○ジオパークなど震災遺構の地域資源化に向けた調査・検討 など



(黒島漁港 (輪島市))

## (取組11) 能登半島国定公園のリ・デザイン

能登の最大の魅力ともいえる壮大な自然環境や農山漁村の原風景は、未来へと継承すべきかけがえのない財産です。里山里海に育まれた多様な生物資源の適切な保全を図ることはもとより、地域資源としてその利活用を促進します。

<内容>

○能登半島国定公園の拡張を通じた「30by30」の実現  
○「のとSDGsトレイル (仮称)」の創設 など



(禄剛崎 (珠洲市))

(写真) 石川県観光連盟

# 創造的復興リーディングプロジェクト

## (取組12) トキが舞う能登の実現

能登復興のシンボルとして、トキが半世紀ぶりに石川・能登の大空を舞うという夢の実現に向けた取り組みを進め、トキと人が共生する豊かな里山里海を未来の世代へつなげていきます。

<内容>

- トキの放鳥・定着に向けた餌場等の確保・整備
- トキをシンボルとしたブランド化等の地域活性化など



## (取組13) 産学官が連携した復興に向けた取り組みの推進

能登をはじめ石川全体の活力の創出を図り、石川の成長に繋げるため、産学官が連携した支援体制を構築し、復興に向けた象徴的なプロジェクトの支援・実施に向け、取り組みます。

<内容>

- 「産学官石川復興プロジェクト会議（仮称）」の設置



『**石川県創造的復興プラン**』はこちら

○ URL

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/fukkyuufukkou/souzoutekifukkousuishin/fukkouplan.html>

○ QRコード



『**問い合わせ先**』

石川県 能登半島地震復旧・復興推進部 創造的復興推進課

☎ : 076 (225) 1981

# リーディングプロジェクトの取組状況と今後の進め方（概要）

第3回石川県令和6年能登半島地震復旧・復興アドバイザーボード会議資料（令和6年9月9日）

取組	施策	現況・方向性
<p><b>【取組1】復興プロセスを活かした関係人口の拡大</b></p> <p>都市と地方の双方に拠点を構える二地域居住を始め、さまざまな形で関係人口を創出・拡大することで、人口減少が進む中でも地域の活力を維持向上させていく。</p>	<p>①:新しいライフスタイルや広域避難者の二地域居住モデルの構築</p> <p>②:能登官民連携復興センターを通じた県内外からの支援拡大</p> <p>③:道路整備による金沢・能登間の移動の高速化</p> <p>④:和倉温泉、輪島朝市等の地域まちづくり支援</p> <p>⑤:支援者宿泊のための被災古民家の活用促進</p> <p>⑥:農林水産業ボランティアの実施</p>	<p>①:8月から当事者や有識者等の意見聴取を実施。今後市町とも議論を進める。</p> <p>②:能登官民連携復興センターの10月設立に向けて準備中。</p> <p>③:珠洲道路等の高規格道路化に向けた支援等を国へ要望。</p> <p>④:地域の主体的な検討に伴走しサポートを実施中。</p> <p>⑤:補助制度を設け、8月から公募を開始。</p> <p>⑥:農林水産業ボランティアを197カ所1,532人派遣(8/26時点)。</p>
<p><b>【取組2】能登サテライトキャンパス構想の推進</b></p> <p>「学都石川」としての力を活用し、防災・復興等の教育・研究フィールドとして、数多くの学生や教員、研究者が能登を訪れることで、さまざまな知見が地域に加わるとともに、若い世代の交流・関係人口の増加につなげる。</p>	<p>①:復興支援等に取り組む学生や大学ゼミ等の活動の支援、継続的な関係性づくりの促進</p> <p>②:能登をフィールドとした高等教育機関の研究・教育活動の後押し</p> <p>③:防災・復興に係る産学官等連携機関の設置</p> <p>④:学生の祭りへの参加促進</p>	<p>①②:災害ボランティアと併せて地域住民等との交流を促進する、いしかわサテライトキャンパス推進事業(復興型)を実施中(6月補正)。</p> <p>①②③④:(公財)大学コンソーシアム石川の能登分室を奥能登行政庁舎内に設置(8月)するなど事業推進に協力。</p>
<p><b>【取組3】能登に誇りと愛着が持てるような「学び」の場づくり</b></p> <p>誰一人取り残されない学びの機会を提供するとともに、民間ノウハウなど様々なリソースを活用し、子どもや親世代も望む創造性豊かな子育てや学びが実現できる能登を目指す。</p>	<p>①:ICTを活用した学習環境の整備</p> <p>②:高校における魅力ある学校づくりの推進</p> <p>③:高校においてふるさとの価値の実感や課題解決型学習を行う創造的復興教育の推進</p> <p>④:様々なリソースを活用した子育て・学びの環境づくり</p>	<p>①:ICTによる遠隔授業など先進事例の研究や実施体制を検討。</p> <p>②:全国募集校の拡大や地域ニーズに応じたカリキュラムの改善などを検討。</p> <p>③:OECDと連携し、輪島高校の生徒による能登の復興を自ら考えるワークショップ(能登スクール)を開催(8月)。</p> <p>④:子育てや学びに取り組む民間団体等との連携強化を検討。</p>

# リーディングプロジェクトの取組状況と今後の進め方（概要）

第3回石川県令和6年能登半島地震復旧・復興アドバイザーボード会議資料（令和6年9月9日）

取組	施策	現況・方向性
<p><b>【取組4】新たな視点に立ったインフラの強靱化</b></p> <p>単に直すだけでなく観光誘客や交流人口拡大の視点も取り入れた付加価値を持ったインフラを実現する。</p>	<p>①:半島沿岸部を周遊する「能登半島絶景海道」を整備</p>	<p>①:「能登半島絶景海道」の構成路線の応急復旧工事を実施中。 引き続き、国と連携しながら本格復旧に取り組む。</p>
<p><b>【取組5】自立・分散型エネルギーの活用などグリーンイノベーションの推進</b></p> <p>能登の自然環境を活かし、災害に強くカーボンニュートラルにも資する能登らしいグリーンイノベーションを推進し、能登のブランド価値を高める。</p>	<p>①:集落におけるオフグリッド化の推進 ②:持続可能な上下水道インフラの構築 ③:住宅等での自立分散型エネルギーの活用推進 ④:電気自動車によるグリーンドライブの推進</p>	<p>①②:今後策定される市町のまちづくり方針とも整合を図りつつ、先進技術や支援制度などの情報提供、国との調整等を実施。 ③:住宅への太陽光発電設備の設置補助(9月補正)を計上。 ④:道の駅での蓄電池型急速充電器等設置に向け検討中。</p>
<p><b>【取組6】のと里山空港の拠点機能の強化</b></p> <p>交通の要衝であるのと里山空港を、平時・災害時ともに人・物・資金が行き交う中核拠点として、更なる機能強化を図る。</p>	<p>①:定期便に加えプライベートジェットの誘致などによる航空交流拠点としての機能の強化 ②:災害時における防災拠点としての機能の強化</p>	<p>①:空港関連会社や他空港施設の先進的事例等の情報収集・分析を行っており、機能強化に向けた今後の方向性を検討。 ②:現在進んでいる施設の復旧や地震の検証を踏まえつつ、災害時の空港の役割を整理し、施設設備の耐震強化等も実施。</p>
<p><b>【取組7】利用者目線に立った持続可能な地域公共交通</b></p> <p>のと里山空港やのと鉄道からの二次交通としても重要な地域公共交通のあり方について、利用者のニーズを丁寧に汲み取りながら、将来の能登の姿を見据えた、地域公共交通の再構築を図る。</p>	<p>①:従来の輸送資源の最大限の活用や、新たな仕組み・技術の活用等について、市町や関係者と連携・協議し、能登地域の地域公共交通計画を策定</p>	<p>①:関係者間の協議会を8月に設置し議論を開始。応急的に対応すべき金沢－能登市町間の移動手段の確保等について、年度内に第1次地域公共交通計画を策定。 オンデマンド交通や公共ライドシェア、自動運転などの新たな仕組みや技術の活用も検討し、来年度以降に第2次計画をとりまとめ。</p>
<p><b>【取組8】奥能登版デジタルライフラインの構築</b></p> <p>日常生活の利便性を高めながら災害にも備えるフェーズフリーの考え方で、平時から物流や移動の拠点となる「モビリティ・ハブ」を整備する。</p>	<p>①:地域のコミュニティ施設を物流・移動のサービス提供拠点となるモビリティ・ハブとして整備 ②:モビリティ・ハブを繋ぐドローン航路の整備 ③:マイナンバーカードのコミュニティ施設等での活用検討</p>	<p>①②③:国のデジタルライフライン全国総合整備実現会議（石川県知事も参加）で、石川県での取組のあり方についても議論中。 ②:ドローンによる物資輸送を県防災訓練で実証。 ③:マイナンバーカード等による避難所受付の実証を年度内に実施。</p>

# リーディングプロジェクトの取組状況と今後の進め方（概要）

第3回石川県令和6年能登半島地震復旧・復興アドバイザーボード会議資料（令和6年9月9日）

取組	施策	現況・方向性
<p><b>【取組9】能登の「祭り」の再興</b></p> <p>能登の財産、地域の絆となっている祭りの再開支援を通じて、ふるさと文化の継承や、地域コミュニティの再建につなげる。</p>	<p>①:祭り用具の補修や新調等に対する支援</p>	<p>①:6月補正で「いしかわ県民文化振興基金」を拡充。祭り再開支援をメニュー化し、国庫補助と合わせて支援。</p>
<p><b>【取組10】震災遺構の地域資源化に向けた取り組み</b></p> <p>震災遺構や震災で得られた教訓などを保存・活用し、未来へつなげていく。</p>	<p>①:地盤隆起や断層等のユネスコ世界ジオパーク認定に向けた各種取り組みの実施</p> <p>②:被害状況や復旧・復興の教訓等の資料を収集・蓄積し、デジタルアーカイブとして公開・活用</p>	<p>①:日本ジオパークネットワーク等と連携し、ユネスコ世界ジオパークの前提である日本ジオパーク認定申請に向けた準備に着手。</p> <p>②:令和6年9月より、関連資料の収集を開始し、年度内に一部を公開予定。資料の収集を継続・充実しつつ、収集した資料の活用の在り方について検討。</p>
<p><b>【取組11】能登半島国定公園のリ・デザイン</b></p> <p>里山里海に育まれた多様な生物資源の適切な保全を図り、地域資源として利活用を促進していくことで、能登のブランド価値を高める。</p>	<p>①:2030年までに30%以上を健全な生態系として保全する「30by30」の実現等に向け、陸域の保全区域の確保など能登半島国定公園の拡張を推進</p> <p>②:豊かな自然風土に触れ、魅力を体験することができる自然歩道「のとSDGsトレイル(仮称)」の創設</p>	<p>①:能登半島国定公園が拡張候補地に選定されており、現在国で調査中。</p> <p>②:専門家や地元の意見等を聞きつつ、検討を進める。国の来年度概算要求において能登半島の自然歩道整備への個別支援が計上。</p>
<p><b>【取組12】トキが舞う能登の実現</b></p> <p>トキが能登の里山里海の中で人とともに共生していた自然環境を取り戻すことで、能登の復興のシンボルとなるとともに、能登のブランド価値を高める。</p>	<p>①:トキ放鳥・定着に向けた餌場の確保や営巣環境の整備</p> <p>②:トキとの共生に向けた環境教育の実施</p> <p>③:トキをシンボルとしたトキツーリズムや農林水産物のブランド化の促進</p>	<p>①②③:先般、早ければ令和8年度に放鳥実施とする国の方針が公表。能登地域トキ放鳥受入推進協議会で策定したロードマップに基づき、生息環境や社会環境の整備等を推進するとともに、環境教育の充実やブランド化の方向性を検討。</p>